

平成 24 年度中間決算の概要

主要計数

(単位:億円)	23年度中間期	24年度中間期	増減
業務粗利益(信託勘定償却前)	17,898	18,316	417
国債等債券関係損益	2,215	2,752	536
営業費(▲)	9,901	10,144	242
実質業務純益	7,997	8,171	174
与信関係費用総額 ^(*1)	▲286	▲622	▲336
株式等関係損益	▲967	▲1,735	▲767
株式等償却	▲1,072	▲1,868	▲796
その他の臨時損益 ^(*2)	2,844	▲112	▲2,957
経常利益	9,586	5,700	▲3,885
連結中間純利益	6,960	2,904	▲4,056
除く負ののれん(モルガン・スタンレー) ^(*3)	4,054	2,904	▲1,149

(*1) 与信関係費用(信託勘定)+一般貸倒引当金繰入額+与信関係費用(臨時損益)+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連)+償却債権取立益

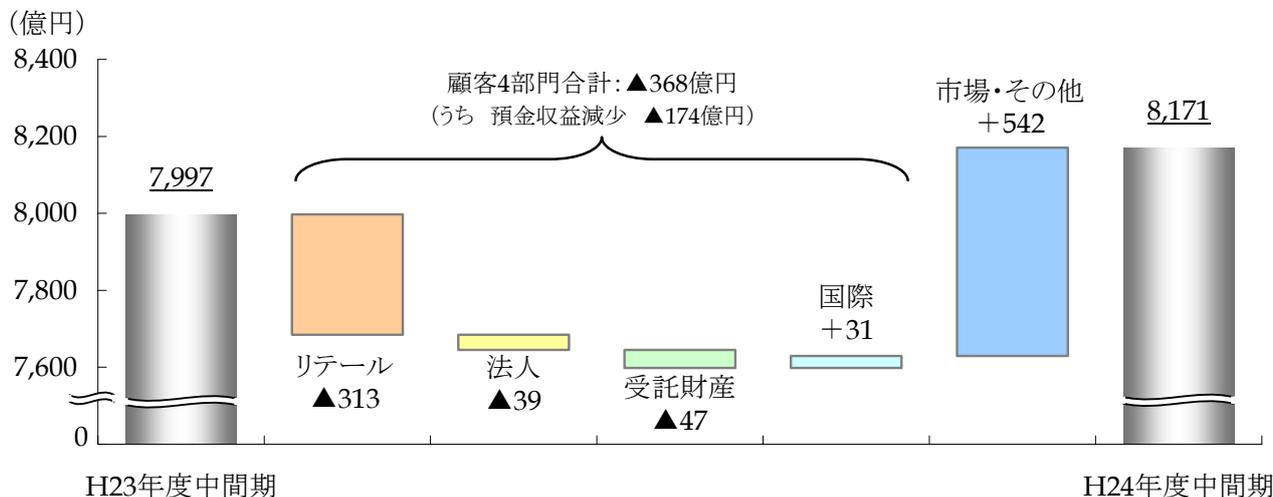
(*2) 持分法投資損益、利息返還損失引当金繰入額を含む

(*3) モルガン・スタンレーを持分法適用関連会社としたことに伴い、発生した負ののれん

連結事業本部別収益の状況

- ◇ 低金利環境、株式相場の低迷など厳しい外部環境が続くなか、国内顧客部門は苦戦
- ◇ 一方、国際部門及び市場部門が牽引役となり、実質業務純益は増益

[実質業務純益^(*1) 増減内訳]



(*1) 部門別増減は管理ベース

連結自己資本比率

	23 年度末	24 年度中間期末	増減
自己資本比率	14.91%	14.30%	▲0.60%
Tier1 比率	12.31%	12.57%	+0.26%

24 年度業績目標・配当予想

(単位:億円)	23 年度実績		24 年度	
	中間期実績		中間期実績	
連結当期(中間)純利益	6,960	9,813	2,904	6,700
普通株式配当/株	中間 6 円	年間 12 円	中間 6 円	年間 12 円

24 年度下期の取組方針

◇ 新中計初年度の締め括り

- ▶ 新興国経済の減速懸念台頭などリスク要因が増加するなか、24 年度財務目標達成に向けて、グループ一丸となって各種の施策を具現・実行する。

◇ 『3つの協働』の強化によるお客様への貢献

- ▶ MUFG の強みである「グループ会社間」、「リテール・法人部門間」、「国内・海外部門間」の協働を最大限に生かし、多様化するお客様のニーズに丁寧にお応えしていく。

◇ 新中計達成のための土台となる経営管理・基盤の強化

- ▶ グローバルガバナンス態勢強化への取り組みや金融規制対応等を継続・本格稼働させ、事業戦略を支える守りも固める。

以上

本資料には、当社又は当社グループの業績、財政状態その他経営全般に関する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。かかる記述は、現時点における予測、認識、評価等を基礎として記載されています。また、将来の予想、見通し、目標、計画等を策定するためには、一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし前提(仮定)は、その性質上、将来その通りに実現するという保証はなく、客観的には不正確であったり、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。そのような事態の原因となりうる不確実性やリスクの要因は多数あります。その内、現時点において想定しうる主な事項については、決算短信、有価証券報告書、ディスクロージャー誌、Annual Report をはじめとした当社の公表済みの各種資料の最新のものをご参照ください。